第25回オリンピック冬季競技大会（ミラノ・コルティナ2026）大会報告

大会概要

1. 大 会 名：第25回オリンピック冬季競技大会（ 2026/ミラノ・コルティナ）

2. 開催場所：イタリア／ミラノ及びコルティナダンペッツォ

3. 大会期間：2026年2月6日から22日の17日間

4. 実施競技：8競技116種目(TEAM JAPAN選手は6競技67種目に出場)
   - 追加競技　スキーモ（初）
   - 実施種目は116種目へ増加（北京2022大会は109種目）

5. TEAM JAPAN編成数：283名
   内訳：男子選手47名、女子選手74名、監督コーチ等162名
   団長：伊東秀仁
   副団長：原田雅彦
   旗手：森重航（スピードスケート）、冨田せな（スノーボード）
   旗手代行：坂本花織（フィギュアスケート）

Copyright © Japanese Olympic Committee All Rights Reserved.

Olympic and Paralympic Masterplan

MILANO CORTINA 2026

MILANO CORTINA 2026

Motorway
National road
Mountain Road
Railway
High-speed Railway
Cluster
City
State border
Olympic City
Paralympic City

Official Port of Entry Airport
Other Airport
Mountain pass
Tunnel

IBC* | MPC*
CURLING
SKI MOUNTAINEERI
OLYMPIC FAMILY HOTEL
FIGURE SKATING
SNOWBOARD
PARALYMPIC FAMILY HOTEL
FREESTYLE SKIING
SPEED SKATING
OLYMPIC VILLAGE
ICE HOCKEY
PARA ALPINE SKIING
PARALYMPIC VILLAGE
LUGE
PARA BIATHLON
CEREMONIES
NORDIC COMBINED
PARA CROSS-COUNTRY SKIIN
ALPINE SKIING
SKELETON
PARA ICE HOCKEY
BIATHLON
SHORT TRACK SPEED SKATING
PARA SNOWBOARD
BOBSLEIGH
SKI JUMPING
WHEELCHAIR CURLING
CROSS-COUNTRY SKIING

*IBC: International Broadcast Center
*MPC: Main Press Center (Only for Olympics)

Updated on 13.07.2

競技成績

冬季オリンピック最多のメダル数

金メダル
5

銀メダル
7

銅メダル
12

日本の冬季オリンピック通算メダル数100個到達

合計24

4th 6　5th : 1　6th : 8　7th : 4　8th : 5

入賞者合計　48

Copyright © Japanese Olympic Committee All Rights Reserved.

モニタリング基本フローと連携

拠点：ミラノオフィス（選手村から約15分）
JOC＋弁護士＋モニタリング専門家　計6名

拠点：JOC事務局
JOC＋弁護士＋モニタリング専門家　計16名

日本＆イタリアで24時間体制

作業①　モニタリング

AI抽出：

目視：

＋Yahoo記事・コメント

作業②　弁護士による削除対象チェック

作業③　PFへ削除要請・通報

★DailyMTG：日本TEAMーイタリアTEAMとの情報連携

即時連携
【電話・オンラインmtg】

TEAM JAPAN

本部

競技団体
リエゾン

選手
スタッフ

LINEヤフー　Meta

情報共有・連携による、TEAM JAPANサポート
電話、オンラインmtg実施による課題解決
※Xとも連携しているが、リリースに至っていないため別記載

© JOC/JPC All Rights Reserved.

ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック期間中の報道とSNSモニタリングの傾向について

モニタリング期間：2026年1月19日～3月2日

※11月の選手選考時から事前調査実施

AIと目視で確認した投稿	355,975件
削除申請を行った件数	1,913件
実際に削除に至った件数	578件

※2026/3/2時点の数値

メディア・報道の傾向

・WEBニュースのコメント欄で反応が集まり、その後、SNSへ話題が広がっていく傾向が見られた。

SNS上の投稿・反応の特徴

・全体としては応援コメントが大多数であり、誹謗中傷は一部に限られる。

【誹謗中傷例】

・同一選手への執拗な投稿
・見た目への言及
・競技結果への批判
・セクハラ
・侮辱

・DMやメールなど本人に直接届く言葉も確認。

課題

・被害を受けた選手の心理的サポート
・選手及びスタッフへの教育・研修の徹底（DM対策含む）
・NF内での体制整備・連絡窓口の周知促進（問題発生時の即時対応）

愛知・名古屋アジア大会及びロサンゼルス2028大会に向けたモニタリング体制の検討

© JOC/JPC All Rights Reserved.

ミラノコルティナ2026 視察を踏まえた 今後の重要課題

競技力向上と社会価値創造

競技力の向上及び社会価値創造を持続的に実現するための課題点

01

過去最高水準の成績

スポーツ庁目標である「過去最高水準」の維持・更新

パリ大会・ミラノコルティナ大会を基準とした継続的向上

円安・物価高騰に対応した安定的な競技力強化予算の確保

02

次世代育成基盤の確保

予算不足によるジュニア層の海外遠征・合宿機会の減少が深刻

サステナブルな強化のための次世代パスウェイ構築が急務

多くの競技団体（NF）から育成強化への強い要望あり

03

強化拠点機能の最適化

NTC・HPSC：20設の機能見直しと稼働率改善

分散型対応：冬季競技特性に応じた複数拠点構築の必要性の検討

インフラ整備： 2038/42年を見据えた国際基準対応のリンク等の必要性の検討

04

デジタル・科学的強化基盤

データ活用：AI解析等による科学的エビデンスに基づく強化

マテリアル開発：用具・素材（雪質対応ワックス等）の科学的開発

環境医学：医学情報や環境適応に基づくアプローチの推進

05

コーチ・専門スタッフ体制

人材確保難：円安等により海外優秀コーチ招聘が困難な状況

マルチサポート：フィジカル・メンタル・分析等の専門職が兼務状態

海外拠点活用：海外共同拠点を活用した人材確保・育成の仕組み

これら、競技強化を取り巻く環境に対応した協働チームでのアクションプランの検討と推進を行っていく

Copyright © Japanese Olympic Committee All Rights Reserved.

JOC強化戦略プラン　4つの重点戦略軸

4つの重点戦略軸（競技力向上・派遣体制設計・環境整備・社会価値創造）で推進する全体構造

コンセプト	**競技力×社会価値創造**			
戦略軸	**競技力向上** **メダル獲得の最大化とプロセス重視の強化戦略（競技力）**	**派遣体制設計** **国際大会派遣時のサポート体制の充実（大会現場）**	**環境整備** **次世代強化・拠点・デジタル戦略の推進（環境・基盤）**	**社会価値創造** **持続可能なスポーツ環境の創出と社会価値の実装（価値創造）**
実施策	• 過去最高水準の成績を目指す • プロセス重視の強化	• 国際大会派遣の全体設計 • TEAM JAPANの一体感醸成・機運醸成の施策検討推進	• デジタル活用 • 拠点整備利活用の推進 • トータルコンディショニング文化の浸透	• 憧れられるアスリートの育成に向けた支援の充実 • キャリア支援 • TEAM JAPANコミュニティの創出
具体策	• 過去最高水準の成績（メダル数・入賞者数・競技数）の実現 • 4年サイクルモデルの構築とマイルストーン設計 • 協働コンサルによるNFの中長期強化プラン支援 • 憧れられるアスリート育成に資する指導者・スタッフの強化 • アーバン競技・団体競技など将来強化競技のポジショニング明確化	• TEAM JAPAN ハイパフォーマンスプロジェクトによる全体支援設計 • 宿泊ADサポート・移動導線・事前合宿拠点の整備・設計 • サポート拠点（JAPAN HOUSE、HPSC等）の最適配置 • ウェルフェアオフィサー（セーフガーディング含む）の確保と配置連携 • 現地との一体感・機運醸成（ファン交流・パブリックビューイング等）	• NTC/NTC競技別強化拠点の再整備と2030年ビジョン • 冬季競技も見据えた新拠点（NPC等）の必要性の検討 • JOC365構想：DXを活用した常時接続型強化支援の構築 • デジタル×フィジカル連携によるサポートの再設計 • AI・センサー等を活用した個別最適化と科学支援の拡張	• 憧れられるアスリート育成に向けたJOCアカデミーの再編 • キャリア支援（女性・ユース含む）とライフステージ対応 • SNS・誹謗中傷・メンタルケア・人権保護の体制整備 • 社会貢献・発信力を育てる教育プログラム（指導者・選手） • TEAM JAPANを軸にした横連携の強化（指導者・スタッフ・選手）

Copyright © Japanese Olympic Committee All Rights Reserved.